



『誰を思い出しますか』

得生院 関根昭栄

ご葬儀の折、中学生くらいの女の子に「おじいちゃんは何処に行ったのですか」と聞かれました。

お爺ちゃんが大好きだったんだね。

貴女はお父さんとお母さんから半分ずつ血を受け継いで生まれてきたのだから、貴女の中にはお爺ちゃんの血も受け継がれているはずでしょう。

お骨になつて話ができなくなつたから、遠くに行つてしまつたように感じるけれど、貴女の中に生き続けているんだよ。そして将来、貴女が結婚をして子供が生まれたら、その子の中にも貴女はもちろん、お爺ちゃんの血も流れる訳だから、絶えず受け継がれ生き続けていくのではないかな。

何処に生まれ変わったかという、佛様の世界に行かれたんだよ。佛様の世界は平等で心安らかに暮らせる世界だから、何の心配もしなくて良いんだよ。貴女が成長する過程で、もつと大切な人が佛様の世界に旅立つかもしれないけれど、泣くだけ泣いて悲しんだら、安心して

て佛様の世界に送り出してあげれば良いんだよ。

貴女が遠い将来、子や孫に囲まれて佛様の世界に旅立つたら、お爺ちゃんやお婆ちゃん、それにお父さんやお母さんが貴女を迎えてくれて、「良い人生だったか、楽しかったか」と聞くから、貴女は胸を張って「うん、楽しかったよ」と答えられるような人生を送つて欲しいな。そのためには何をして、何をしてはいけないのかを、自分で考えて実行してくださいね。そして時々、お爺ちゃんを思い出して、感謝してあげて欲しいな。

こんな事をお話しさせてもらいました。皆様はお盆には、誰を思い出してお参りなさいますか。私は沢山の法話等を教えてくれて、去年佛様の世界に旅立った友を思い出しながら、この原稿を書きました。

思い出してあげるのが一番の供養です。お盆だけではなく、ご先祖様はもちろん、大切な友達などのことを時々は思い出し、生かされている今に幸せを感じ、感謝の心で回向していただきたいと願います。

新潟佛教会花まつり法要

平成二十二年四月八日(宝亀院本堂にて)

花まつり報告

- <式典> 日時：平成22年4月8日(木)午後1時より2時
会場：宝亀院(新潟市中央区西堀通9番町1612)
- <おねり> 古町通を大和デパート前まで
- <灌仏> 日時：平成22年4月8日(木)午前10時より
会場：古町アーケード(大和デパート前)
- <講演会> 日時：平成22年4月8日(木)午後3時より
会場：ホテルイタリア軒5階
講師：光山正明師(浄土真宗本願寺派 本浄寺住職)



式典



園児さんの灌仏



園児さんの灌仏



おねり



古町会場での灌仏

晴天のもとでの花まつり法要となり、多くの園児さんや市民の皆様にご参加いただきました。皆様、ありがとうございました。ございました。

それにしても、古町会場を「大和デパート前」と呼ぶことができるのが、今年限りというのは寂しいことです。諸行無常(あらゆるものが変化してやむことがないという教え)を実感させられます。

花まつり講演会報告

演題：「平熱36度5分」

イタリア軒5階の一室を会場に開催した講演会ですが、おかげさまで50人を超える方々が会場にお出でくださいました。ここに、講師から頂戴した講演の要旨を掲載します。



近頃の時代背景のせいもあるのですが、自分の廻りを見渡して見ても、テレビのニュースを見ても、新聞を読んでも、皆、イライラ、カリカリ、ピリピリしているように感じます。

皆さんの廻りは如何でしょうか？

皆さんご自身は如何ですか？

さて、本日の演題「平熱三十六度五分」。

私たちは風邪や体調不良になると普段は平熱を保っている体温がグングン上昇し、苦しくなつて病院へ行き、点滴や注射をうって熱を下げてもらいます。

体温が平熱に戻ると身体が楽になります。

私たちの体熱は体温だけではありません。実は私たちの心にも熱があります。

日々の暮らしの中で怒つたり喧嘩をしたり、また、仕事などの様々な要因で一日中イライラしてはいませんか。そんな時、皆さんの心の熱はグングン上昇していきま

す。
私たちが心を常に平熱に保つことは容易なことではありません。

その心の熱を平熱に保つよう一生懸命働いてくださるお方が「仏様」です。仏教という仏様の教えです。

新潟には沢山のお寺がありますが、実はその一つ一つが私たちの心の熱や心の病を治し平熱に戻してくれる病院です。

仏様がお医者様です。お坊さんは看護師さんです。

仏様は優しく、広くて大きな心で、この私を目当てに救いの手をさしのべて「心を平熱(平静)に保ちなさいよ、あまり欲張つて張りきりすぎないように、少しのことで落ち込まないように、また、少しばかりの良いことがあつても有頂天にならないように」と「教え」という治療をしてくださいます。

お釈迦様は、生老病死という四苦の中で生きる人々をご覧になり、何とか救う手立てはないものかと苦行の末、悟りを開かれ「仏教」という仏様の教えをお示しくださ

いました。
四月八日はお釈迦様の誕生日です。その誕生日を祝う行事が花まつりです。



第7回市民のための仏教講座

特別講師

ひろ さちや氏

1936年 大阪市に生まれる
 東京大学文学部卒、同大学院博士課程修了
 気象大学校教授を経て宗教評論家として活躍
 現在、大正大学客員教授

演 題

「ご縁の世界」に生きる

日時 2010（平成22）年

10 / 9（土）

開場 午後2：30

開演 午後3：00

会場 新潟県民会館大ホール

チケット代金 1,200円（前売り1,000円）全席自由

主催 新潟佛教会

協賛 新潟県仏教会・新潟市仏教連合会

チケット購入 新潟佛教会の各寺院、新潟県民会館チケットセンターなど

お問い合わせ 新潟佛教会事務所 新潟市中央区西堀通9番町1612 宝亀院内

TEL 025-222-2725

《編集後記》

今年の「花まつり」も無事に終了いたしました。天候不順が続いていましたので「おねり」の開催が危ぶまれましたが、幸いにも晴天に恵まれました。絶好の撮影日和でもありましたので、園児と家族の皆さまにとって、良き思い出が残せたのではないのでしょうか。実は桜の開花もひそかに期待していたのですが（昨年は異常な暖冬により開花していたので）、さすがに欲張りすぎた願いだっただようです。

さて、この秋には二年に一度の講演会（仏教講座）が開催されます。

今回は初の試みとして、土曜日の午後からという日程にいたしました。

より多くの皆さまに参加していただけることを期待してのことです。目論見どおり盛会にて終了できるよう、今から準備を始めているところです。どうぞご協力をよろしくお願致します。

（観爾）